

図書館だより

第35号 平成17年7月4日
高松工業高等専門学校図書館
TEL (087) 869-3813
FAX (087) 869-3948

1000ページ 読破記について



一般教育科 国語 長谷川 隆

今年も「1000ページ読破記」の季節になりました。夏休みの間に本を何冊か(合計1000ページ以上)読んでもらい、その読破記を1000字以上(400字詰原稿用紙2枚半以上)で書いてもらうという企画です。図書館の企画であるこの「読破記」も今年で15回目になります(下表参照)。

図書館の企画ですが、国語科で夏休みの宿題の1つとしています。国語科では他に「夏休み体験文」と「読書感想文」も募集していて、この3つの中、1つ以上を選んで提出することを、4年生までの夏休みの課題にしています。「夏休み体験文」と「読書感想文」は2000字程度書かなければなりません、「1000ページ読破記」は1000字以上にしています。読書好きな学生にとっては1000ページというのは大した数字ではないようです。文庫本で3、4冊読めば突破できる数字ですし、書く字数が少ないので、チャレンジしてくれるのかもしれない。しかし、中には何と10,000ページ以上も読書する学生がいて、若者の読書離れなど他の世界のことでないかと感じられさえます。

ところで、9月になると、国語科(3名)で分担して、夏休みの課題文を読んでいます。9月中頃までに入賞候補作を絞り、選考をし、11月頃に表彰式という運びになります。

読破記を読んでいくのは大変ですが、楽しみもあります。どんな作品に人気があるのかを知る楽しみです。自分が昔感激して読みふけた本を選んでくれていると同志を得たような気持ちになります。また、まだ自分が読んでいない本を選んでみると自分も読んでみたい気持ちにさせられます。村上春樹という作家に出会ったのも、「ローマ人の物語」の塩野七生に出会ったのもこのようなことをしているからです。私自身の読書の幅を広げる上で「千ページ読破記」は役立っているのです。

さて今年はどうな本を選んで読んでくれるでしょうか。それを楽しみに今年も「読破記」を募集することにしましょう、4年生以下は国語(文学)の宿題ですが、5年生や専攻科生も是非挑戦してください。

ところで、読破記の内容は、読み終えての達成感というようなことでもよいし、本の内容についての感想でもかまいません。1000ページの本は、図書館で発掘するのもよいし、本屋で安い文庫本を買うのもよいでしょう。図書館では夏休みの長期貸出を行うので是非活用してください。ただし、活字に親しんでもらおうというねらいがあるので、漫画や雑誌は除きます。提出期限は平成17年9月5日(月)です。国語科まで遅れずに提出してください。なお、読破記の最後に、書名、著者名、出版社名、ページ数、を忘れずに書いておいてください。

(はせがわ たかし)

1000ページ読破記入賞者(佳作を除く)

回数	年度	応募総数	優秀賞等入賞者 ()は学年・クラス	題名
第1回	平成3年	273	遠藤 真紀(3E) 山下 祥央(1C) 新田 賢一(1E)	(学校長賞) (教務主事賞) (図書館長賞)
第2回	平成4年	210	出口 優子(2S)	「一冊の良い本に出会うには」
第3回	平成5年	204	津村 陽子(2S)	「遠藤周作作品を読んで」
第4回	平成6年	174	谷本 一子(4C)	「千ページ読書を通して学んだこと」
第5回	平成7年	178	新野ひとみ(11)	「ヒリー・ミリガンとの出会い」
第6回	平成8年	162	原 直樹(24)	「ローマ人の物語」
第7回	平成9年	192	三木奈津子(4C)	「村上春樹を読んで」
第8回	平成10年	144	富田 悠介(3M)	「千ページ読破記」
第9回	平成11年	155	増井 陽二(4S)	「源氏物語を読んで」
第10回	平成12年	177	羽床 昌子(2S)	「1000ページの壁」
第11回	平成13年	148	平島 義嗣(3E)	「人間の心について」
第12回	平成14年	189	黒田 望(2C)	「源氏物語を読んで」
第13回	平成15年	175	黒田 望(3C)	「ロシアを想う」
第14回	平成16年	226	齋藤 秀樹(11)	「坂の上の雲」

図 書 委 員 会 か ら

委員長になって

4年S組 徳田 大輔



今年度の図書委員長になった制御情報工学科4年の徳田です。昨年度から図書委員として活動してきて、昨年度は図書副委員長をしていました。今年は昨年より更に重要な位置につくことになったので、昨年以上に積極的に図書委員の活動に取り組んでいきたいと思えます。今年1年間どうぞよろしくお願ひします。

さて、皆さんは日頃図書館をどのように利用されていますか。今年から図書館内の机とイスが新調され、より快適に過ごせるようになりました。更に、素晴らしいことに図書館内は1年中快適な温度に設定さ

れています。この何処がすごいかというと、冷暖房が切れてしまった放課後や、時期的にまだ教室で冷暖房が使用できない時などに大変重要なことです。ですから皆さんもテスト勉強や読書の際、休憩の時などに積極的に図書館を利用してください。もちろん本の貸し出しもできますからそちらの方もご利用ください。

図書館の主な企画としてブックハンティングというものがあります。これは各クラスに約1万円の予算が与えられ、クラス内から希望のあった本などを購入できるといった企画です。中間テストの最終日の午後2時から買いに行くのですが、図書委員だけでなく一般の学生も参加できます。「読みたいけれど値段が高い」などといった本の購入に僕的にお勧めなので積極的に参加してください。

〈とくだ だいすけ〉

「月の影 影の海 〈上〉十二国記」

電気情報工学科 村上 幸一



この本は私が【他人との付き合い方】について、もっと真剣に考えなくてはいけないと、思うきっかけとなった1冊です。

この本の内容は、普通の高校生がある日異世界に紛れ込み、そこでいろいろな経験をするという、ファンタジーの王道なストーリーなのですが、物語の本質はそこにはなく、ビルドゥングス・ロマン、すなわち、主人公が様々な葛藤を経て精神的に成長していく様を描いた物語となっています。

主人公の高校生は、学校生活において波風を立てずまわりと同調することで、穏やかに生きていました。すくなくともそのつもりでした。しかしそれは、まわりの人を最愛に思い仲良くやってきたというわけではなく、単に人と対立するのが疎ましかっただけだったことに気づきます。目の前の存在に従うのは、敬っているからではなく、その人に対して己の正しさを主張するのが面倒くさいだけ。とりあえず笑っておけば状況から取り残されることもないし、何も言わなければ集団から浮き出ることもない。ただただ、状況に適応していきただけ…

ただまわりにあわせていけばいいという状況から、異世界に一人で取り残されて、主人公は、誰も信じられず敵意あるものが襲ってくるという状況に置かれます。襲ってくるバケモノを自分一人でどう対応すればいいのか、目の前にいる初対面の人に対してどう対応していけばいいのか。問題の先送りはできません。なにしろ自分の選択に自分の命がかかっているのですから…

この本の内容はひどく私の心にのしかかります。前の職場では、2年周期での転勤でしたので、わずか2年間だけの人間関係でした。とりあえずニコニコしておけばいい、波風立てず…敵のいない代わりに味方もないような状況。なんだかつまらない仕事だなあとと思いながら、早く定年にならないかなあとと思いながら。

しかしこの4月に、ふと重要なことに気づきます。私は今年で採用から3年目なのですが、3年目なのに転勤しないのです。もちろんそんなことは、採用が決まったときから知っていたつもりだったのですが、いざ3年目になると大変なことだな、ということに気づきます。目の前の同僚との付き合いは、これから30年間続くのです。どうせ2年間だけだと思っていたから、前の職場では嫌なことがあってもニコニコしていられたのですが、人間いやなことがあって、そうそうニコニコしてられるものではありません。

“場当たり的に、人当たりの良さだけで、”というのではなく、本当に人間関係を築きあげていかないといけないんだな、と思うと、これはもう大変だなあと思うのですが、問題の先送りはできません…いえ、命がかかっているわけではないので、先送りできないこともないのですが、問題の先送りはやめようと思っています。うわべだけ取り繕いながら日々を送って、気がついたら自分の周りには誰もいなかった。というのでは、なんだかあまりにも寂しい。

この【月の影 影の海〈上〉十二国記】という本は、高松高専の図書館にもあります。是非、ご覧になってみてください。

〈むらかみ ゆきかず〉

小野不由美【月の影 影の海〈上〉十二国記】
分類913.6

体温ある言葉

一般教育科 英語 市川 緑



ふとしたきっかけで、高校のとき担任だった国語の先生と十云年ぶりに会うことになり、伏見へ飲みに行った。互いに最近好きな本はという話になり、国語の先生だし難解な古典でも出るかと身構えていたら、驚いたことに意見がそろって同じ作家の名が挙がった。現代作家の川上弘美である。先生は『センセイの鞆』という作品が何よりお気に入りだったが、この話は、居酒屋でばったり再会した七十歳代の元国語の先生と三十代の月子さんという元教え子のなんと恋愛もの。しかし妙に似通ったシチュエーションではないか。酔いが回って「誰が僕の月子さんになってくれるのかしらん」と夢みる先生（おいおい、既婚者でしょう）に、このまま先生の月子さんにされては大変と私は急いで話をそらす。それにしても、年を経て元恩師と一個人としてよもやま話をするのは新鮮である。先生はただの人であり、同時に私にとってやはり今なお先生なのだった。

先生の川上弘美好きには、人間らしいというべきか、あるいは不純な(?) 憧れもすくなくならず作用しているようだったが、いい日本語を書く作家だなあと川上弘美に惹かれている私は、その点国語の先生と意見がそろったことでお墨付きをもらったみたいでうれしかった。マスコミにあふれ人口に膾炙した言い回しは滑らかでわかりやすいようであって、実のところ意味が稀薄だったりする。川上弘美の作品の中では、この言葉、久しぶりに聞いたな、というような、日常の後ろに隠れていた言葉が豊かな意味を持ってたち現れる。一見易しいが選び抜かれた言葉。川上弘美の文体には、また、ひらがなが多い。中国の、あいまいさを許さない断言的な漢語だけの構造は、日本では違和感を持ち、「そこからはみ出す思い」を表現するためにひらがな、カタカナが生まれたと聞いたことがあるが、川上弘美のひらがなは、じつにそういうのはみ出す思いを広く深く汲みとろうとしているように思う。

「歩きまわって確かめているうちに、ぼかんとした気分になってきた。自分のいる場所や時代がふたしかになってくる。ふだん自分の位置を常に確認しているわけではない。確認しなければ、それが確固としたものなのかふたしかなものなのか、わからない。だからふだんはぼかんとはしない。何も考えず、ただ生きている。こうして確かめはじめると、とたんにぼかんとする。」「確固」と使い分けられたひらがなの「ふたしか」がもたら

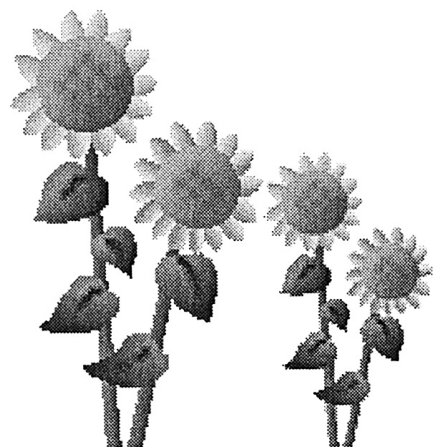
す感触の違い。そしてその「ふたしかなもの」をみつめることが、彼女の作家としての姿勢なのである。「ふたしか」などところにこそ見極めるべきものがあるのではないかと。

「人智では計れないところで、何かと何かがつながりあっている。つながりは、具体的な利益に結びつくわけではないし、人の目をひくばった結果を呼ぶわけでもない。それでも、どこかで何か、かすかながらも、つながっていてくれる。」「生きることは喜びなのだろうか。ほんとうにそうなのだろうか。それも知らない。そうだよ、生きることは喜びなんだよと、声をそろえて言ってしまうそうになる。でも、きちんと実感していないので、言わない。いつかしんじつ実感できるときがくるまで、大事に、とっておくことにする。」

外装やかたち、名称や数字、わかりやすいものでかく区切られていく世の中の、見えにくい部分、名付けようもなくゆらぎ、そこにこそ何か生み出す力を湛えた部分を、そのまますくいあげようとする川上弘美の言葉。やさしくおおらかで、しみじみとする。『あるようなないような』、『ゆっくりさよならをとる』などのエッセイ集も、淡々とした日常を、ユーモアと洞察力に満ちたまなざしでとらえ、冷めすぎず熱すぎず、ほどよい体温のある言葉で描いていて、どこまでも心地いい。お薦めである。

高松に来る直前、くだんの国語の先生が、今度は英語の先生もいっしょに、歓送会をして下さった。伏見の高架下のおいしいラーメン屋さんを出たあと、今度は高松で、と別れた。川上弘美の新刊、読まれたらどうか。

〈いちかわ みどり〉



『ロボットアナトミー』

稲葉雅幸 加賀美聡 西脇光一著 (岩波書店)

タイトルを日本語にすると『自動機械解剖学』である。ロボット学会の気鋭が書いた渾身の一冊である。豊富な挿絵と写真を用いて著者らが開発した2足歩行ロボットを中心に、知能ロボットをシステムとして解説している。岩波講座「ロボット学」全7巻のうちの1冊。

制御情報工学科教員 平岡 延章

『なぜ起こる鉄道事故』

山之内秀一郎(JR東日本前会長)著(東京新聞出版局)

本書は、世界各国の鉄道事故を通して鉄道技術の安全への対応から生まれてきた今日の安全システムの理念を理解させてくれる。また、近代化に貢献した鉄道事業の変遷をも説明している。さらに、同じ交通機関として発達してきた自動車、航空機に対する事故の相違を再認識させてくれる。

建設環境工学科教員 松原 三郎

『写真と図解 実践!今すぐできる古武術で蘇るカラダ』

甲野善紀著 (宝島社文庫)

この文章は、新着図書で紹介というよりも著者「甲野善紀」の紹介として書きました。著者を知ったきっかけは、NHKの「課外授業・ようこそ先輩」というテレビ番組です。著者の肩書きは武術家であり、番組内で著者は古武道の考え方を通して日本人にふさわしい体の使い方を解説していました。著者の「筋力があるということが本当に良いとは限らない。ありすぎて却って悪い場合もある。」という言葉が印象的でした。著者の、ものの考え方、従来とは異なる視点が興味深く感じられました。

制御情報工学科教員 由良 諭

『放課後退魔録 I ~IV(るI)』

岡本賢一著 (富士見ファンタジア文庫)

地下校舎は魔窟と化した! 異星のテクノロジを駆使して妖怪に立ち向かった女子高生二人に危機が迫る。雨神丈斗は、彼につきまとう遊天童子なる妖怪とともに救出に向かったがその前に立ちはだかったのは…!?

4年M組 上池 奈央

『「分かりやすい話し方」の技術』

吉田たかよし著 (講談社)

あなたの言いたいことは、面接員や試験官あるいは聴衆に確実に伝わっていますか? 「全体像と要点を先に話す」、「ストーリーを短い文で構成する」など、事例を通して分かりやすい話し方のポイントを解説。就職・進学あるいは学会発表を控えたあなたにお薦めの一冊です。

制御情報工学科教員 平岡 延章

『野ブタ。をプロデュース』

白岩玄著(河出書房新社)

「自分」というキャラクターを見事に演じ、人気者高校ライフを送る主人公・桐谷修二。そんな修二が見つけた新たな遊び。プロデュース。イジメられっ子の「野ブタ。」を人気者にしようと手腕を振るう。果たして「野ブタ。」は人気者になれるのか。最後に待っているものとは。綿矢りさのインストールと同じ文藝賞受賞作。

5年E組 大角 卓也

『「不機嫌」と「甘え」の心理』

加藤諦三著 (PHP文庫)

なぜカライラしてしまう。特に理由はないのに不機嫌になってしまう。そんな経験はありませんか? 本書は、感情を素直に出せない心理や意味もなく相手を恐れてしまう心理をわかりやすく分析しながら、不機嫌になる原因を探っていきます。「心の奥底」を知り、素直な自分に。

5年S組 岸 寿子

『功名が辻』

司馬遼太郎著 (文春文庫)

明治維新の原動力となった山内家の開祖、山内一豊が織田家の一家臣から土佐二十四万石の大大名にまで登りつめるサクセスストーリー。見どころは、一豊の出世の影の功労者となる千代の存在です。ちなみに、この「功名が辻」は、2006年度放送予定のNHK大河ドラマにもなっています。

2年E組 齊藤 秀樹

『あこがれのビーズ刺繍アクセサリー』

田川 啓二著 (講談社)

さまざまなオートクチュールビーズ刺繍のテクニックを使い、身近なアクセサリーやコサージュ、バッグなど55の作品を解説図、作り方とともに紹介しています。この本に紹介されているアクセサリーは見るからに凝った作りのゴージャスなものばかりですが、色の組み合わせが上品なので日常で使えるものが作れると思います。

5年E組 山本 聡美

『ディーゼルこそが、地球を救う!』

小川英之・清水和夫・金谷年展著 (ダイヤモンド社)

2010年 日本のディーゼル車の排ガス規制はガソリン車と同等になる。スーパーグリーンディーゼルが街を走るようになるであろう。CO2排出の観点から見ても、熱効率のよいディーゼルのほうが断然有利である。ディーゼル車を見直す時代が来たのである。

機械工学科教員 小島 隆史

『ダレン・シャン 奇怪なサーカス』

ダレン・シャン著 橋本恵訳 (小学館)

僕が中学の頃に読んだ本で主人公(ダレン・シャン)があるサーカスの秘密を知り半ヴァンパイアにされヴァンパイアの世界で生きていくという物語です。おもしろいので読んでみてください。

2年M組 植田 竜生

『吸血鬼ハンター “D”』

菊地秀行著 (朝日ソノラマ)

人間とバンパイアとのハーフとして生まれたDを主人公として描く物語です。似たような設定のハリウッド映画もありますが、もしそのファンで興味を持った人は読んでみてはどうでしょうか? 僕もこの作品の挿絵を描いている天野喜孝先生のファンだったということで読み始めました。間接的なきっかけでも、読み始めるとおもしろいかもかもしれません。

4年C組 大西 孝典



から

図書館に新しく入れた本



新
着
図
書
か
ら

『猫は密室でジャンプする』

柴田よしき著 (光文社文庫)

各話完結の6作が入った短編集
主人公は猫。名前、正太郎。毛色、八割黒二割白。
飼い主を“同居人”と呼ぶ。そして特技、推理。『ハードボイルド』な奴である。
猫好き、ミステリー好き、面白ければ何でも読める人、たとえミステリーが苦手でも、ぜひ一読ください。きっと楽しめるはずです。

1年1組 矢野 正人

『世にも美しい数学入門』

藤原正彦・小川洋子著 (筑摩書房)

「工学」な人たちは「数学」を道具として使います。数学科の先生方には叱られそうですが、「数学」を美しいだとか芸術的だとか考えたこともありませんでした。しかし、本書を読んでちょっと「数学」の見方が変わりました。圧倒的に「数学」は美しいのです。

機械工学科教員 吉永 慎一

『幽霊はテニスがお好き』

赤川次郎著 (中央公論社)

大学のテニスサークルの合宿で「矢車荘」を訪れたさと子は、幽霊の邦子と出会った。元は、さと子と同じ大学のテニスサークルだった邦子が幽霊になってしまったのは訳があった……!!
全6編の短編小説です。
おもしろいのでぜひ読んでみてください。

5年C組 尾形 圭伊子

『水の循環』

山田國廣・本間都・加藤英一・鷲尾圭司著 (藤原書店)

「水の循環」には、これまで別々に捉えられてきた環境、資源、エネルギー、生命という四つの視点から再生させて循環する社会が必要となる。
本書は、環境問題である水不足、水汚染の解決に対する、水循環破壊の現場にあって具体的に変革させてきた活動家の4人による提言書である。

建設環境工学科教員 松原 三郎

『すすめ (文庫版)』

畑村洋太郎著 (講談社文庫)

最近、大きな鉄道事故が報告されましたが、人類はこのような失敗に学び、それを繰り返さないための知恵を身につけながら成長してきました。失敗は誰でもするもの。問題はその後への対応です。この本を参考にして、一回り大きな技術者を目指してください。

電気情報工学科教員 本田 道隆

『靖国問題』

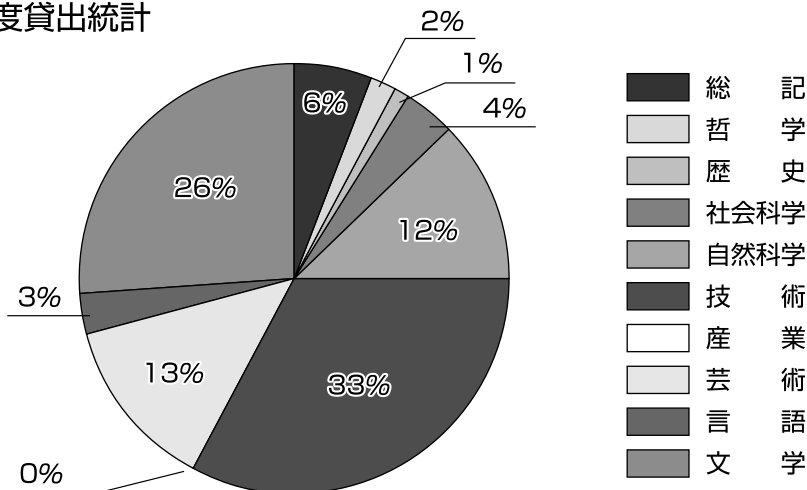
高橋哲哉著 (ちくま新書)

気鋭の哲学者による「靖国」論。靖国神社をめぐる状況はとてはやこしいことになっている、この本は、こういう複雑な(あるいは複雑にみえる)問題に対して、すぐに答えを探すよりも問題のよりよい定式化を考えるという(カント以来の(?)哲学のすくねたやり方に則っている。というわけで、この本に全面的に賛成というのも全否定というのも良い読み方ではない。キミはどう考える?

一般教育科 数学教員 高橋 宏明

図 書 館 か ら

■平成16年度貸出統計



■利用者別貸出数

	図 書	付録CD-ROM	C D	雑 誌	合 計
学 生	6,776	53	879	59	7,767
専攻科生	1,328	28	50	15	1,421
教 職 員	640	5	44	135	824
学 外	84	2	7	8	101
合 計	8,828	88	980	217	10,113

■開館日数

曜 日	日 数
平 日	240
土曜日	36
日曜日	4
計	280

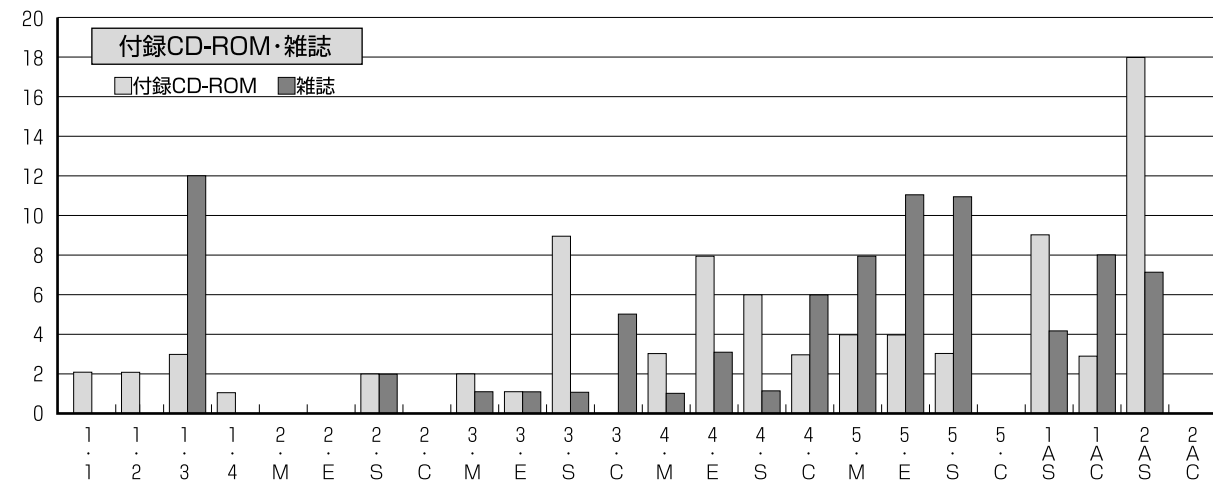
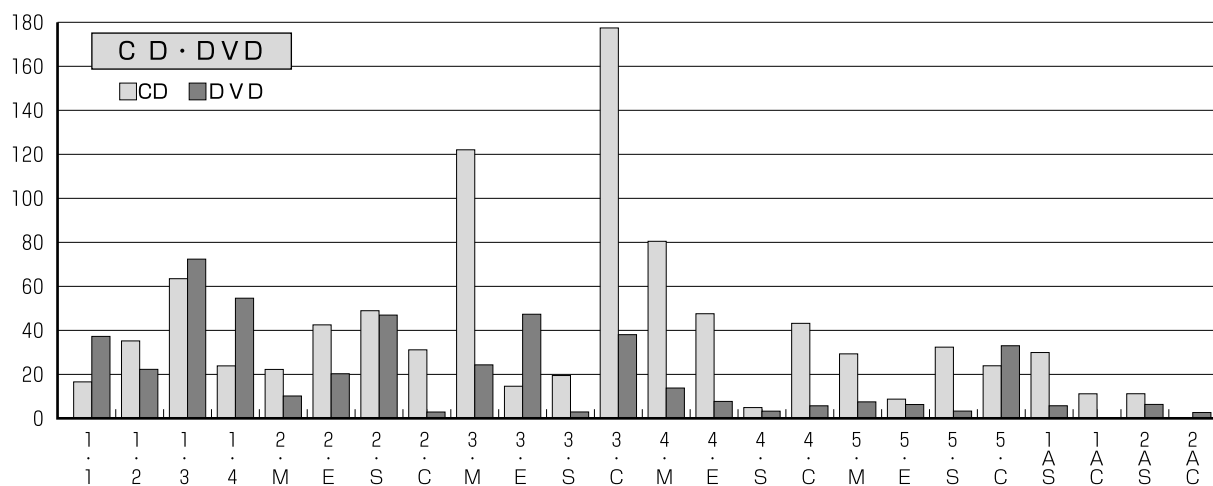
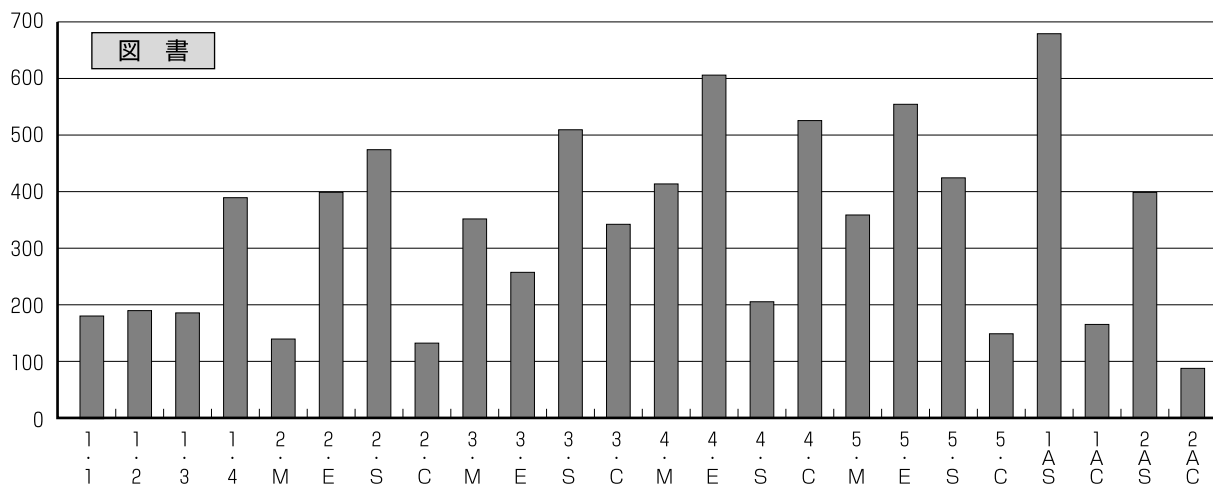
■学生貸出冊数

	平成16年度	平成15年度	平成14年度
学生貸出総冊数	9,188	8,691	8,016
学生1人当たり貸出冊数	10.6	10.2	9.4

■時間別利用者数

時間内		時間外				計	
日数	人数	平日		休日		日数	人数
		日数	人数	日数	人数		
240	29,681	182	7,943	40	2,344	280	39,968
1日平均	123.7	43.6		58.6		142.7	

■平成16年度クラス別貸出数



■平成16年度分類別図書購入調

分 類	洋 書		和 書		分 類	内閲覧室			
	冊数	金 額	冊数	金 額		洋 書		和 書	
						冊数	金 額	冊数	金 額
0(総記)	0	0	122	433,973	0(総記)	0	0	67	211,582
内情報科学	0	0	100	274,318	内情報科学	0	0	53	157,333
1(哲学)	0	0	42	63,442	1(哲学)	0	0	39	59,663
2(歴史)	0	0	82	167,662	2(歴史)	0	0	51	84,597
3(社会科学)	0	0	124	294,232	3(社会科学)	0	0	111	150,618
4(自然科学)	47	522,260	218	565,052	4(自然科学)	0	0	109	259,979
5(技術.工学)	2	21,787	409	1,416,899	5(技術.工学)	0	0	302	885,753
6(産業)	0	0	8	11,327	6(産業)	0	0	6	9,858
7(芸術)	2	2,960	170	174,613	7(芸術)	2	2,960	152	148,757
8(言語)	9	21,659	86	241,805	8(言語)	2	6,898	67	173,055
9(文学)	0	0	332	413,478	9(文学)	0	0	325	356,612
計	60	568,666	1,593	3,782,483	計	4	9,858	1,229	2,340,474

■平成16年度購入雑誌

分 類	種類	金 額	内閲覧室	
			種類	金 額
0(総記)	26	350,044	7	50,325
内情報科学	19	299,719	3	35,498
1(哲学)	0	0	0	0
2(歴史)	2	12,668	0	0
3(社会科学)	8	122,985	1	6,000
4(自然科学)	11	358,377	4	52,177
5(技術.工学)	27	387,605	6	41,753
6(産業)	1	12,672	1	12,672
7(芸術)	11	104,034	1	19,236
8(言語)	7	78,339	1	15,492
9(文学)	0	0	0	0
計	93	1,426,724	21	197,655

■平成16年度購入外国雑誌

分 類	種類	金 額	内閲覧室	
			種類	金 額
0(総記)	1	59,660	1	29,830
内情報科学	0	0	0	0
1(哲学)	0	0	0	0
2(歴史)	0	0	0	0
3(社会科学)	1	72,187	0	0
4(自然科学)	4	177,533	1	8,043
5(技術.工学)	17	977,421	0	0
6(産業)	0	0	0	0
7(芸術)	1	6,385	1	6,385
8(言語)	1	13,975	0	0
9(文学)	0	0	0	0
計	25	1,307,161	3	44,258

■平成17年度第1回ブックハンティング本紹介

書 名	著 者	書 名	著 者
天使と悪魔 上・下	ダン・ブラウン	あなたの隣の怖い噂	宇佐 和通
わが闘争 上・下	アドルフ・ヒトラー	続あなたの隣の怖い噂	宇佐 和通
スター・ウォーズ エピソード3	S・W・サーガ	老子 全	王 明
パイオハザード1	S・D・ベリー	孫子 呉氏	守屋 洋
ロード・ロス	ダレン・ジャン	六韜 三略	守屋 洋
天国への疾走	マイケル・ブレイク	もう一度学びたい世界の歴史	まがい まさこ
失われた黄金都市	マイケル・クライトン	ザ・歴史トリビア	西沢 教夫
バットマン ビギンズ	デニス・オニール	検証 もうひとつの武將列伝	井沢 元彦
宇宙戦争	H・G・ウェルズ	歴史洗脳を解く	栗原 宏文
純愛不倫	イヴリン・ロウ	すぐわかる世界の宗教	町田 宗風
チョコレート工場の秘密	ロアルド・ダール	ワルの知恵本	門 昌央
アウシュヴィッツを越えて	アナ・ハイルマン	アレ何?大事典	佐々木 正孝
アポロとソユーズ	デイヴィッド・スコット	ダーリンの頭の中	小栗 左多里
デルトラ・クエストIII 1~4	エミリー・ロッダ	さおだけ屋はなぜ潰れないのか?	山田 真哉
カラザン・クエスト1	V・M・ジョーンズ	猫だまし	河合 隼雄
功名が辻	司馬 遼太郎	懲りない男と反省しない女	渡辺 淳一
花鳥	藤原 緋沙子	性・からだ・こころ 悩みはポイ!	毎日新聞
最後の願い	光原 百合	ど素人がはじめる株の本	なべ
パンブルームス!	江國 香織	姓名の暗号	樹門 幸宰
青鳥	ヒキタ クニオ	日本の常識 世界の非常識	竹村 健一
クレオパトラの夢	恩田 陸	なんでこれが交通違反	今井 亮一
イン・ザ・プール	恩田 陸	ボンコツバイク再生塾	寺崎 勉
海の底	有川 浩	機械部品の幕の内弁当	森 政弘
さくら	西 加奈子	クルマのメンテナンス〇と×	広田 民郎
ねこのぼば	畠中 恵	ヒューマノイドロボット	梶田 秀司
ぬしさまへ	畠中 恵	ひと目でわかる筋と形	大竹 英雄
ゆめつげ	畠中 恵	基本情報技術者試験完全対策	野々山 隆幸
しゃばけ	畠中 恵	理系のためのインターネット検索術	時実 象一
ネコンギラジカル 上・中	西尾 維新	理系のための英語論文執筆ガイド	原田 豊太郎
クビツリハイスクール	西尾 維新	クォーク	南部 陽一郎
ハサミ男	殊能 将之	オーロラ夜想曲	坂本 昇久
パウアウ!	成田 良悟	笑いの文化人講座 24、25	ホットカプセル
MewMew!	成田 良悟	伝説の勇者の伝説 1、2、3	鏡 貴也
デュラララ!!	成田 良悟	マグナカルタ 上・下	氷上 慧一
ROOM No.1301 1301#5	新井 輝	着信アリ 1、2	秋元 康
かりん増血記⑤	甲斐 透	呪怨 1、2	大石 圭
猫は密室でジャンプする	柴田 よしき	THE JUON	大石 圭
D・N・ANGEL 1、2	横 ありさ	EME RED 4、5	瀧川 武司
放課後退魔録 I.ワラキズ	岡本 賢一		

■新着DVD紹介

ピフォア・サンセット	モンスター	24 シーズン1 Vol.5~9
ピフォア・サンライズ	ターミナル	ブロックダウン・パレス
サウンド・オブ・サイレンス	スカイキャプテン	サイバーネット
ブラッド・ワーク		

— 平成17年度 委員紹介 —

図書館運営委員

館長	長谷川
一般	高橋
機械	小島
電気情報	樋口
制御情報	由良
建設環境	松原
専攻科	竹下
事務部長	板橋

図書委員 (学生)

◎委員長 ○副委員長

	1組	2組	3組	4組
1年	矢野 正人	西村 彩	松良 明彦	瀧井 宏起
	M	E	S	C
2年	植田 竜生	斉藤 秀樹	西原 聖之	岡田 康宏
3年	後藤 勇人	石村 直也	松元 俊明	○梅本 忠彦
4年	島村 豪敏	多田悠一郎	◎徳田 大輔	大西 孝典
5年	下津屋慶明	大角 卓也	岸 寿子	尾形圭伊子

1000頁読破記念募要領

夏休み中の読書体験として、1000頁読破にチャレンジしてみましょう。

- *読破記：1000字以上にまとめる
- *用紙：400字詰め原稿用紙2枚半以上
- *用紙の始めに：学年・組・番号・氏名を記入
- *最後に：書名・著者名・出版社名・頁数を記入
- *提出先：国語教室
- *提出期限：9月5日(月)

★優秀作品には表彰等があります。
「図書館だより」第36号に掲載する予定です

夏季休業中の長期貸出について

夏季休業中は下記のとおり、貸出冊数と貸出期間を大幅に増やしています。自宅でのんびりと本を読みませんか、読書好きの学生が多くなることを期待しています。

- 貸出期間：7月11日(月)～
- 返却期限：9月2日(金)
- 貸出冊数：20冊まで貸出OK

編集後記

11年振りの異常渇水が続いています。あちらこちらで雨乞いの踊りも復活しています。昔の讃岐の人々はどのような思いで青い空を眺めていたのでしょうか。便利に慣れた現代人も、今年の夏は、ため池を作った古人の思いを自分のものとするのでしょうか。1000ページ読破記は今年も募集しています。温故知新。本の中に現代の難問を解決する鍵が隠されているかもしれません。

(図書館長)

